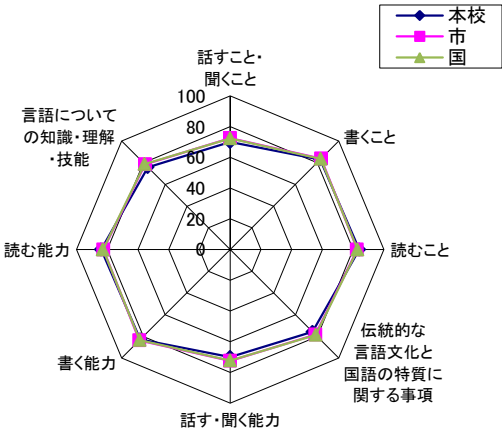


宇都宮市立陽南中学校第3学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

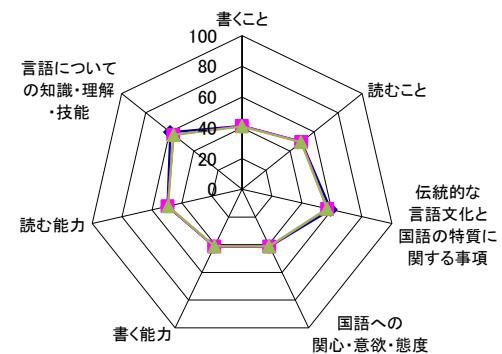
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	70.0	72.5	72.3
	書くこと	82.9	83.7	83.4
	読むこと	84.0	82.6	82.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	75.8	78.4	78.7
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	70.0	72.5	72.3
	書く能力	82.9	83.7	83.4
	読む能力	84.0	82.6	82.9
	言語についての知識・理解・技能	75.8	78.4	78.7



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと			
	書くこと	41.3	41.3	41.0
	読むこと	49.6	49.6	49.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	59.3	57.0	56.8
観点	国語への関心・意欲・態度	41.3	41.3	41.0
	話す・聞く能力			
	書く能力	41.3	41.3	41.0
	読む能力	49.6	49.6	49.2
	言語についての知識・理解・技能	59.7	57.0	56.8



★国語に関する質問紙調査の状況

○良好なもの ●課題が見られるもの

- 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思っている生徒の割合が全国に比べ15.4ポイント高い。
- 国語の勉強は好きである生徒の割合が全国に比べ10.1ポイント高い。
- 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している肯定的な生徒の割合も全国に比べ14.7ポイント高い。
- 国語B調査問題の解答時間が足りなかったと感じている生徒が全国に比べ、2ポイント多い割合である。

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出す問題では全国より3.4ポイント、県より2.3ポイント上回っている。 ●目的に応じて質問して、資料を効果的に活用して話す問題では、全国より10.2ポイント、県より9.4ポイント下回っている。	TPOに応じた話す、聞くポイントについて、資料を精選して学習をする。
書くこと	○語句や文の使い方に注意して、伝えたい心情にふさわしい言葉に書き換える問題では、全国より2.8ポイント、県より2.6ポイント上回った。 ●集めた材料を分類するなどして整理する問題では、全国より2.3ポイント、県より2ポイント下回っている。	新聞作りなどの教材等を使い、書くための材料はどんなものが良いのかを考えさせながら、分類する能力を身につけさせたい。
読むこと	○文脈の中における語句の意味を理解する問題では、全国より1.2ポイント、県より2.1ポイント上回っている。 ●登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する問題では、全国より1.2ポイント、県より1.9ポイント下回っている。	小説などの教材を通して、場面や登場人物の設定の仕方を捉えるなど、心情や行動を読み取りを深めさせたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む問題では、全国を0.3ポイント、県を0.4ポイント上回っている。 ●文脈に即して漢字を正しく書く問題では、全国を9.0ポイント、県より7.5ポイント下回っている。	ショウタイなどの同音異義語について、意味、用法の違いについて、一つずつ覚えていくよう繰り返し指導する。